

甌島

内川内地区

日常マップ

甌島のマチュピチュ 甌島で唯一の山上集落

瀬々野浦の人達が土地を守るために移り住んだのがこの集落の始まりと言われています。他はどこも海拔10mまでの高さに集落がありますが、内川内のみ、海から240mほどの高さに集落があります。静かで神秘的なこの集落では、耳をすませると滝の音が聞こえてきます。

イチオシ方言: さんば! (さようなら)
かえるの呼び方: どんこう

内川内地区のイベント・行事

10月 高巖神社遷座祭

※おすすめおさんぽコースの周辺には、個人宅につながっている道が多くあります。地区内を散策する際には、必ず内川内コミュニティ協議会に連絡をして、地区に着いたらはじめに内川内地区コミュニティセンターへお越しください。

内川内地区コミュニティ協議会 ☎ 09969-5-0941

帽子山 314.9 m

茶畑の跡。標高が高い内川内では良質なお茶が生産されていた。

内川内中学校跡

閉校した中学校。(現在は空き地) かつて子供達は15分ほどかけて登校していた。小屋床線入り口の畑が広場になっており、そこで運動会が行われていた。周りの段々畑が観覧席だった。

“内川内の海”

内川内の海では、シイラ漁が盛んで現在も行われている。3枚におろして塩漬けにし、酢で食べるのが好まれる。

岸壁には約8,000万年前の地層が連なる。

高巖神社では平成31年まで遷座祭が行われていた。令和2年からは地区コミュニティセンターで行われる。昔は男性も女性も赤い服を着て、三味線や太鼓をかき鳴らしながら行列を作り、神社まで列を作っていた。高巖神社のお祭りでは「手踊り」が奉納される。

昔、花見をかねて遷座祭をしたところ、酔った人が家に帰らず滝に降りていき、いなくなったということで大騒ぎになった。

内川内の滝

内川内には、あまり知られていない大きな滝がある。山から湧き出た水が、滝となって海へ流れていく。滝の全体は海から見る事ができる。

西光寺

航空自衛隊

“足腰が強い内川内の人たち!”

内川内集落に移り住んだ人々は、かつて片野浦や長浜から船で届く石材やコンクリートなどの資材を、海拔200m以上も上にある集落まで山道を担いで上がり、学校や神社を建てた。

“内川内地区コミュニティセンター”

もともと内川内小学校だった場所に内川内地区コミュニティセンターを建てた。「おとしよりにやさしく・おとしよりはたくましく」の看板がある。

“下甌島唯一の茶工場跡”

かつて島中の茶葉がここに持ち込まれていた。元々は運動場で、子どもの遊び場だった。

“こうちコンニャク”

内川内地区は以前は「こうち」と呼ばれていた。「かやぶき屋根」の「かや」を肥料にして栽培されたこんにゃく芋から作られたものは「こうちコンニャク」と呼ばれ、正月や法事には必ず作られている。人口の減少とともに「かや」も少なくなり、現在は宮崎県で栽培されたこんにゃく芋を使っている。

“へそだな”

風が山の斜面から上に強く吹く地形を生かし、野菜などを干すためのやぐら。切り干し大根やこっばなどを作り、できたものは農協に出荷していた。

高巖神社の看板



おすすめ
おさんぽコース

ツツジ・ゾーン

西光寺

アジサイ・ゾーン

下甌名物
たかえびバス停

内川内地区
緊急避難施設

尾岳山頂 海拔 604 m
(甌島最高峰)

海拔 600 m

海拔 500 m

海拔 447 m
航空自衛隊
下甌島分屯基地

海拔 400 m

海拔 300 m

海拔 200m~280m
内川内集落

海拔 200 m

海拔 143 m 高巖神社

海拔 100 m

海拔 80 m 内川内の滝

海拔 5 m 他の集落

